令和８年度前期　函館支部活動報告

１　研究構造について

＜函館支部　研究主題＞

運動に魅力を感じ，自ら学び，高め合う体育活動の創造
～豊かなスポーツライフの実現を目指した授業づくりの実践を通して～

＜目指す子ども像＞

「かかわり合いの中で主体的，協働的に運動に取り組む子」
○自ら課題をもって解決する子　○仲間と創意工夫しながら学び合う子　○運動に夢中で取り組み，挑戦し続ける子

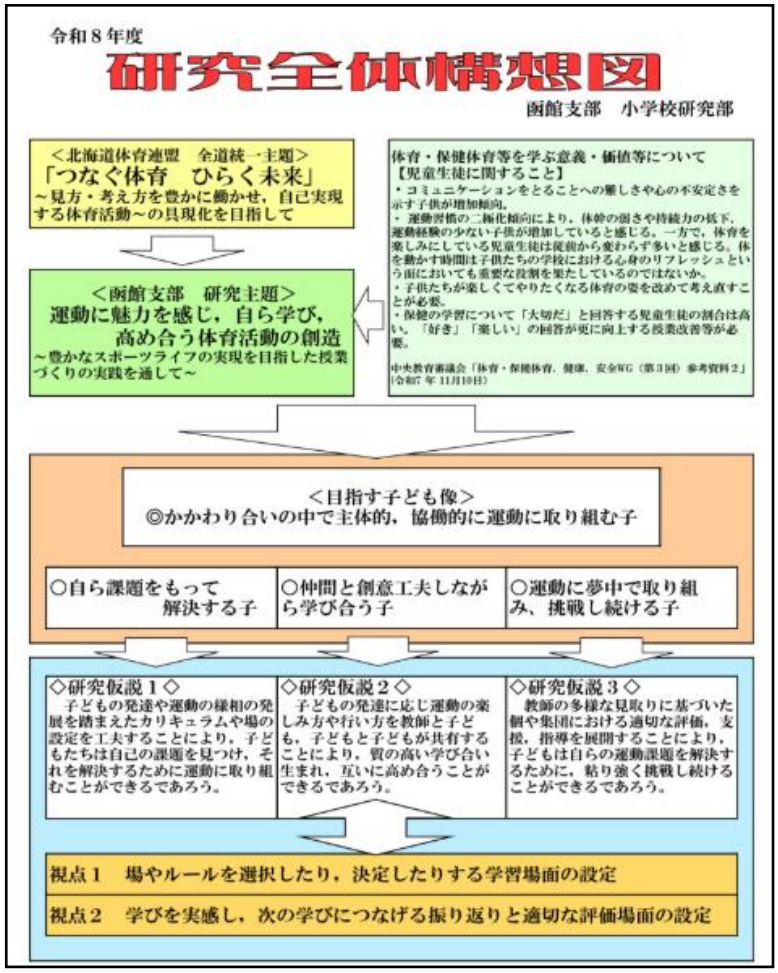
①　全道統一主題を踏まえ、目指す子どもの姿を「かかわり合いの中で主体的，協働的に運動に取り組む子」と設定した。その具体像として３つの姿を掲げ，理論に裏打ちされた授業開発および実践交流を展開する。

②　研究の視点については，次の２点の視点で行うこととした。

・「場やルールを選択したり，決定したりする学習場面の設定」
・「学びを実感し，次の学びにつなげる振り返りと適切な評価場面の設定」

＜今年度の重点活動＞

①　体育授業の実践（会員一人一実践）
②　リフレクションシートによる授業評価
③　渡島支部及び北海道体育連盟との交流



２　授業実践報告

・公開授業　令和８年７月 27 日（月）
　第１学年　多様な動きをつくる運動遊び
　「みんなでクリア！だいさくせん」　　授業者　附属函館小学校　教諭　住吉　太一

【授業づくりの意図】　教師の適切な価値づけや関わりにより，フィードバック（FB）からフィードフォワード（FF）へつなぐ授業を構築した。

【成果】

・**場・ルールの選択決定:** 他班の工夫の参照や葛藤を伴う試行錯誤を通して，「仲間と学び合い・伝え合う姿」や「創意工夫して挑戦する姿」が多く観察された。
・**振り返り・評価:** 映像活用や教師の FB/FF の声かけが，児童の工夫や更新を効果的に支えた。

【課題】

低学年の発達段階に適した振り返りの手立て（個人振り返りの導入方法や簡便な手法等）のさらなる工夫・検討が必要。

